



女子学生の就活応援イベント開催

第22回ウイングの会が2016年12月3日、開催されました。女性白門会主催の女子学生を対象とした就活応援イベントで、テンプスタッフ人事部の鈴木礼子さんと、内定が決まった4年生の女子学生4人をお迎えしてお話をいただきました。



和賀 かなえ（法学部3年）



講師の鈴木礼子氏

鈴木さんは中央大学のOGの方だということもあり、私自身の10年後の姿を想像する良い機会になりました。

子育てと仕事の両立は体力、そして精神力も要することではありますが、自己啓発や成長に結びつき、育児にもメリハリをつけることができることなどメリットになる部分が多いということが分かりました。

実際に仕事と育児を両立している方のお話をうかがうことで、様々なことを知ることができました。とりわけ会社や家族の協力は不可欠だということが分かり、企業選びのポイントを学ぶことができた

と思います。

第二部の内定女子学生によるパネルディスカッションでは、実用的なアドバイスをいただくことができました。

12月以降はインターンシップの参加以外に何をすべきか分からなかったのが、皆さんがどのように過ごしていたのか具体的にうかがうことができてよかったです。

企業選びをする際に、業界を絞らず広く見ること、軸を持って探すことをあげられていましたが、業界はあらかじめ絞って検討するものだと思っていたので、考え直すきっかけになりました。

また、社会人の方とお話する機会があると良いとおっしゃっていた方が多かったので、OB・OG訪問を試みようと思いました。

今まで一度もキャリアセンターを利用したことがなく、学内のイベントにも参加したこともありませんでした。インターネットや噂

に頼って就活を進めることは危険で、信頼できる情報を集めることが大切だと感じました。

今回の参加者は前年に比べると少なかったようですが、気軽に質問できる雰囲気イベントで、就活に対するモチベーションをあげるきっかけにもなったので、来年度の3年生にはぜひ参加してほしいと思います。

卒業生、4年生のお話を聞いたことで、目先の就職活動のことだけでなく、5年後、10年後の自分のライフプランを考えるようになりました。

就活に対して正直今までは少し煩わしさを感じていましたが、その先の目標を見据えることで、一つの通過点として乗り切ろうという前向きな気持ちになりました。

今回は、壇上で話していた4年生のように、後輩に自信を持って就活体験をお話してできるようになれば、と思います。



好評だった内定者による経験談。左から大西彩奈さん、岡部友理さん、藤森加南子さん、山下かさねさん